

平成24年度

常任理事会（第2回）

議事録

平成24年7月2日（月）

平成24年度 山口県介護支援専門員協会 常任理事会(第2回)
議事録

1 日 時

平成24年7月2日(月) 午後6時から午後9時まで

2 会 場

山口県セミナーパーク リハビリテーション実習室

3 出席者 9名

佐々木啓太 橋康彦 木村友和 藤本邦和 松谷法史 松井康博
堀田慎一郎 田村則子 岩神亜紀

事務局 福祉人材研修部 主事 川崎真由美 職員 福本かおる

4 報告事項

- (1) 各部の活動状況について
- (2) 第9回山口県ケアマネジメント研究大会実行委員会(第1回)の報告について

5 協議事項

- (1) 今年度予算について
- (2) 会の方向性について
- (3) 事務局機能について
- (4) その他

6 審議の経過

佐々木会長 挨拶の後、各部の活動状況について報告を求めた。

堀田理事 キャストGXの運用について現在、年間24万円かかっているが、会員の閲覧率は決して高いものとは言えない。費用対効果で考えると継続していくのは難しく一時休止にし、誰でも見られる形ではあるが、キャストの機能をメインページに移行し、充実させていくことを検討している。

閲覧率が低い理由としてケアマネジャーの情報源としては、かいごへるぷやまぐちや地域協会からの情報が多いため、キャストGXを必ず見なければ仕事ができないという状況にはなっていない。

佐々木会長 メインページでどのような機能が残せるか等検討し、キャストGXの一時休止について理事会で諮ることについて、常任の意見を伺う。

橋副会長 キャストについて研修等で登録を促してきたが会員数の減少と

共にアクセスの減少につながっている。費用対効果を考えると続ける価値があるのか、見切りをつける必要もあるのではないかな。

田村理事 調査研究のテーマとして会員数の減少について個人の問題調査、地域、県、日本協会のつながり、流れについての調査をしていく中で情報の取り方についてキャストが挙がっている。山口県の環境的にキャスト GX は早いのではないかな。調査研究をしていく中でキャスト GX についても調査していけたらと思う。調査の結果を踏まえて休止にする等検討をしていってもよいのではないかな。

佐々木会長 研修の情報をアップする際、キャスト GX、メインページの両方にアップするため二重作業になり労力がかかるので、一元化も図れたらよいのではないかな。代替えのメインページでどのようなことができるか補足しながら理事会で諮る。

橘副会長 地域協会へ会員個人のアドレス登録をお願いしているので、県協会のメールマガジンを発信すれば、まとめて情報提供ができるのではないかな。

事務局 社会資源についてはキャストを休止した場合メインページで活用できるのかな。

佐々木会長 社会資源の機能についてはキャスト GX を休止すると見れない状況になり、費用を投資した形になるがメインページの中で社会資源について掲載していく形を作ることも検討する。

岩神理事 公益という意味で考えると誰でも見られる情報としてメインページを活用するのはよいのではないかな。

藤本理事 ホームページに広告を載せる等費用対効果を考え、情報を維持しつつ経費を下げることを検討し理事会で諮っていただきたい。

佐々木会長 会員サービスを維持できるように、キャスト GX にある機能をメインページで保管する形について検討する。

岩神理事 研修について当初の予算に比べれば低い状況ではあるが、研修毎に見ると収益は出ている状況である。精神疾患については中央で開催予定。秋口以降に別の研修を組むことについて次回の部会で検討する。研修部についてメールで情報のやり取りを共有しているので研修の組立、講師の調整等学んでいただく。次回理事会の際、部会を開催し、次年度の研修について何を求めているか、来ない方についての調査が出来てない等ニーズ把握の必要がある。

田村理事 個人にアンケート調査やニーズを調査するのは難しく、モチベーション、組織の問題等突き詰めると大きくなってしまう。各部の横のつながりがありながら縦のつながりがないので調査研究部として各部が困っていることなど、原点に戻って調査していく。調査研究部では理事会の際に地域性の調査として問題点、困っ

ていること等その場の意見を KJ 法でポストイットに書き出していただく。出た意見をグループ分けにし、集約すると何を調査すべきが見えてくるのではないか。出た意見を常任で分析していただきたい。

松井理事 公益事業部では社会資源情報について枠まではできているので中身を精査していく中で情報が取れる箇所から入力し、データベースの形で見られるように作り替えていく。

会員が現場で悩んでいることについて意見を整理、カテゴリ別に分類していく。県協会として日本協会、他団体への意見として提言できるようにしていく。

防災に関して、日本協会で行われた大震災を想定した机上訓練を元に、山口県で起こりうる災害にあわせ山口県版の災害マニュアル作成とシミュレーション研修が行えるような形を作る。

佐々木会長 社会資源についてキャスト GX を休止した場合に現在、形になっている物が使えなくなるので、公益事業部でメインページ上に見やすい形で作り替えていただけるか。

松井理事 今まで長い時間をかけているにも関わらず、形になっていないので続ける必要性があるのかも検討すべきではないか。

木村副会長 社会資源の情報の形作りはする必要があるが、個人で情報を書き込めるようにできれば活用する方にとっては有用ではないか。

橘副会長 情報の更新に対応できるかが難しい。情報の収集も大変だが、蓄積した情報の更新判断、管理が難しく、必要最低限の情報しか掲載できなくなる。

松井理事 更新の負担がないように、限られた情報になると知っている情報しか載せられないので、事業仕分けではないが労力を使ってまで続ける必要があるのか。

佐々木会長 事業計画にも載せているので社会資源の情報の掲載について理事会で伺う。

松井理事 現場のケアマネとして抱えている悩み・困りごと・改善してほしいことなど、現場感覚でどうにかしてほしいけれど、自分一人ではどうにもならないことをアンケート用紙に記入して返していただき、解決に向けて会としてできることを模索する。地域の研修会等で配布していただき県協会、公益事業部で集約する。集約された情報はカテゴリ分けをし、研修の題材、パネルディスカッション等で解決方法を考え、会員に返していく。

田村理事 職場で言えない悩み事を言う場を作るのではなく、情報を協会としてとることと考えてよいか。

橘副会長 広報誌の中へアンケートを入れて次回会員の発送に合わせて送付するのはどうか。

- 松谷理事 長い目で見ても、何回も意見を伺っていけばよいのではないかと。
- 岩神理事 理事会で諮る必要がなければ直近の研修会で配布してもよいのではないかと。
- 佐々木会長 アンケートの周知方法等、具体的な内容は理事会で諮るが常任で承諾が得られれば県の研修会でも周知していく。
- 松井理事 差し支えなければ地域を記入していただく。
- 橘副会長 個人名を書いてもらうとその個人に対して意見を返していかないといけない。地域名の記入の必要があるのか。
- 松井理事 地域特性で困りごとがあるのではないかと。段階的に地域性等特定していく形をつくる。
- 松井理事 災害対策机上訓練について一番被害の大きい大地震を想定し、内容、情報の収集を進めていき、山口県で起こりうる災害に対応できるようなマニュアルを作成する。災害対策机上訓練を11月に実施できるように、目的・実施方法について検討する。平常時より災害対応の意識がもてるよう伝達していく。
- 松谷理事 ケアマネジメント研究大会実行委員会の報告について開催日が介護の日と重なるが、地域への声かけを早めにお願ひし、参加者獲得につなげていく。日本協会を通じて鷺見よしみ先生に基調講演をお願ひしているのだから、日本協会とのつながりを会員の方へも伝えていけたらと思う。次回実行委員会は7月16日に行うのでシンポジウムの内容等話し合いをする。研究発表について要項を発送しているが一本釣りも視野に入れていく。テーマに沿った内容で基調講演をお願ひする。
- 事務局 昭和観光社より15分1万円で企業紹介をしていただくことが決定した。
- 藤本事務局長 予算について会員数が確定した段階で予算との差があり、総会で承認を得たが厳しい状況なので補正を組むことになった。補正について事務局と打合せし、支出をぎりぎりまで削っているのだから研究大会参加者、広告収入等の収入を得る協力をいただく。
- 事務局 広告募集について金額等チラシを作成したほうがよいか。
- 佐々木会長 広報誌については企業に送るたたき台があるので、ホームページの広告について作成し、チラシを作る等理事会で諮る。
- 佐々木会長 事務局機能の精査について事務局より作業一覧をまとめている。費用的問題、デメリットを整理し検討していく必要がある。他団体との委託についても会長、副会長、総務組織部で検討していく。会の方向性についても5年先を見据えた方向性について事務局

機能をスリム化していく。一定の機能が事務局には必要なのでペーパーレス化等考えていく。次の理事会では提案していくことについて意見を伺う。

- 岩神理事 事務局変更となると現状の研修運営がしにくくなる可能性がある。委託する事務局で作業が増えるのではないかな。
- 田村理事 研修等事務的作業を役員で分担するのは難しい。
- 松谷理事 事務局公募を前提に一度は流さないといけないのではないかな。地域の協会へ会員獲得の努力をいただく。研修参加についても職員のお願いを早めに伝えて収入を得ていく。
- 堀田理事 予算的に厳しい状態はあるが、事務局の作業が他の委託先で可能なのか検討する。
- 松井理事 現実的に収入より支出が上回る際、研究大会の参加者獲得、会員獲得に力を入れる。最悪の時には研修案内等、郵送せずホームページで周知する等サービスを落とさざるを得ないのではないかな。
- 橘副会長 会費以外の収入がないので、研究大会で講師旅費等支出を抑え、会員獲得については言い方を変えてお願いします。研修についても参加者を増やすお願いをしていく。
- 佐々木会長 事務局については公募を検討し、メリット、デメリットの精査をしていく。
その他会長、副会長が地域の集まり、研修会に参加し、会員獲得、情報伝達のあり方等お伝えしていく。次回理事会を8月11日開催。秋口、3月の計4回を考えている。次回理事会の後に懇親会開催。他団体主催の会議等の出席について常任の方で分担していただきたい。8月7日の「就職フェア」については橘副会長に出席いただく。

と き 午後9時30分

この議事録の内容が正確であることを証するため、署名捺印する。

平成24年7月2日

山口県介護支援専門員協会

議 長 _____ 印

署名人 _____ 印

署名人 _____ 印